自己点検・評価報告書

令和 7 年度 ｜ 埼玉歯科衛生専門学校

発行日 令和 8 年 6 月 30 日

01 基本情報

学校名： 埼玉歯科衛生専門学校

設置者名： 学校法人 知音学園

評価実施時期： 令和 7 年 4 月〜令和 8 年 3 月

評価責任者： 校長 飯塚　哲夫

02 評価基準と評価段階

各評価項目について、以下の 4 段階で自己評価を行います。

4： 適切（十分な成果を上げている）

3： ほぼ適切（概ね目標を達成している）

2： やや不適切（一部に課題があり改善を要する）

1： 不適切（重大な課題があり早期の改善を要する）

03 自己点検・評価シート

以下は文部科学省のガイドラインに基づいた主要な評価項目です。

(1) 教育理念・目標

建学の精神や教育目的が明確か　｜　自己評価 3

現状の取組状況	本校の建学の精神のもと、教育理念・教育目的・教育目標を定めており、社会のニーズに対応できる人材の育成を目指している。また、医療人として求められる専門の知識・技術の教育はもちろん、豊かな教養と、人間性、社会貢献への使命感を育むことに努めている。
今後の課題と改善方策	新任教職員への理念浸透をさらに強化する。

社会情勢の変化に応じた見直しがあるか　｜　自己評価 3

現状の取組状況	高校生・社会人に選ばれる専門学校、医療施設から選ばれる医療人を輩出する専門学校

となることを目指して教育の質の向上に取り組んでいる。

今後の課題と改善方策　高校生・社会人に選ばれる学校となり、医療施設から期待される人材を輩出することで、地域で信頼される学校となることを目指す。

(2) 学校運営

法令遵守と適切な管理体制があるか　｜　自己評価 3

現状の取組状況　法令遵守に関する担当者や「自己評価・自己点検委員会」などの組織が設置され、学校全体で取り組む体制がある。

今後の課題と改善方策　担当者の経験や知識に依存しており、法改正（私学法改正、個人情報保護法、労働基準法など）がタイムリーに反映されるように取り組む。

財務状況等の情報公開を行っているか　｜　自己評価 4

現状の取組状況　財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書などの財務情報をインターネット（公式ウェブサイト等）で公表している。

今後の課題と改善方策　情報公開の趣旨を踏まえ、さらに多くの情報を公開できる仕組みを構築する。

(3) 教育活動

教育課程（カリキュラム）は適切か　｜　自己評価 3

現状の取組状況　学校の建学の精神や人材育成の目標、学習指導要領や法令に沿って教育課程が編成されている。法令で定められた授業時数や、1 単位あたりの必要な学修時間が適切に確保されている。

今後の課題と改善方策　知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度を網羅できているかの確認を怠らない。

シラバスの作成と授業評価の実施　｜　自己評価 3

現状の取組状況　全ての授業科目で適切なシラバスが作成され、事前に学生に開示・周知されている。定期的に授業評価が実施され、その結果が教員の授業改善やカリキュラムの見直しに活用されている。

今後の課題と改善方策　「知識・技能（暗記型）」の確認に偏らないように注意を払う。

(4)学修成果

資格取得率や検定合格率は適正か　｜　自己評価 3

現状の取組状況	歯科衛生士国家資格の合格率 96%。（全国平均以上） 「合格者数 ÷ 受験者数」ではなく、「合格者数 ÷ 在籍学生数」の視点も入っており、全員受験を原則としている。
今後の課題と改善方策	毎年、合格率の原因分析をし、国家試験対策講義の組み直し、指導教材の見直しなどを計る組織体制を維持する。

就職率および希望進路への決定率　｜　自己評価 4

現状の取組状況	就職率 100%。就職希望者に対しては十分な支援が行き届いている。全体の就職説明会の開催、ならびに個人での就職相談を随時行い、学生の希望条件を第一に考えて就職活動サポートも行っている。
今後の課題と改善方策	未内定者や進路未決定者が発生した場合、就職担当教職員が個別にフォローする体制を強化する。

(5) 学生支援

学習指導や生活・メンタル面での相談体制　｜　自己評価 3

現状の取組状況	習熟度や個々の課題に応じた補習、個別指導、学習相談を個人毎に随時に設けている。定期的な個人面談を適切に位置づけ、実施している。
今後の課題と改善方策	カリキュラムの進度が早いため、実技や講義を十分理解出来ていない学生が授業についていけなくならないような体制を維持する。

キャリア教育・就職指導の充実度　｜　自己評価 3

現状の取組状況	担任制を活用し、学生の希望に沿ったクリニックや施設への個別サポート、および求人情報の提供を行っており、就職実績としては大きな成果を収めている。
今後の課題と改善方策	同窓会などのネットワークや企業訪問の機会を活用し、卒業生の就職後の定着状況を把握する仕組みを形にしていく。得られた情報、企業の声を教育改善に反映させるとともに、卒業生への継続的な相談支援体制（アフターフォロー）の体制を更に進める。

(6) 教育環境

施設・設備、ICT 環境の整備状況　｜　自己評価 2

現状の取組状況	物価高騰や電気代の上昇に伴い、特殊な実習設備の電気代やメンテナンス費用、消耗品費が圧迫されており、計画的な修繕に今後影響が出る恐れがある。
今後の課題と改善方策	省エネ型設備への順次更新や、保守契約の見直し、教材費の適正な再計算を行う。

図書や実習機材の充実と安全性　｜　自己評価 3

現状の取組状況	放課後や授業時間外に、学生が実習室や機材を使って自習（技術練習など）できる体制がある。就職指導室ではいつでも求人票の閲覧が可能であり、図書室は２室完備、専門書・業界誌が充実しており使いやすい。
今後の課題と改善方策	実験室や実習室などの実験・実習器具、備品に旧式化が見られ、授業の効率性を高めるための計画的な更新が遅れている。

(7) 学生の受入れ・募集

アドミッション・ポリシーに基づく選考　｜　自己評価 3

現状の取組状況	AO 入試における面接では、アドミッション・ポリシーに掲げる『主体性』と『職業への熱意』を評価するため、面談シートおよび評価ルーブリックを運用し、面談官による評価の平準化を図っている。
今後の課題と改善方策	今後については、多面的な評価をさらに深めるため、体験授業時などの行動観察評価の導入を検討する必要がある。

募集活動における適切な情報提供　｜　自己評価 3

現状の取組状況	学生募集要項および学校パンフレット、公式 Web サイトにおいて、アドミッション・ポリシーに基づいた教育内容の発信を行っている。特に学費に関しては、授業料等の基本学費に加え、教材費などの概算を募集要項、学費必要見込み額表に明記し、入学後の経済的ミスマッチ防止に努めている。また、各種実績数値についてはキャリアセンターの確定データを基に掲載し、誇大広告の排除を徹底している。
今後の課題と改善方策	SNS による手軽な情報発信が増加しているが、誤解を招かないよう、広報担当でのダブルチェック体制を強化する必要がある。今後は SNS 発信に関するガイドラインを明文化し、定期的な研修を行うことで、あらゆる媒体における正確な情報提供を維持する。

(8) 財務・経営

健全な財務基盤の維持と適正な予算執行　｜　自己評価 3

現状の取組状況	予算･収支計画は収支計画書に基づき執行され、監事や外部の公認会計士等による会計監査が厳正に実施、学校教育法施行規則等に基づき、財務諸表（貸借対照表、収支計算書等）や事業報告書が公式ホームページ等で社会に広く公開されている。
今後の課題と改善方策	学生数の減少が、授業料や入学金といった納付金収入の減少に直結し、経営基盤を揺るがすリスクがあるため、少子化の動向を踏まえた複数年の収支シミュレーションを定期的に実施する。

(9) 管理職・ 教職員研修

教員の指導力向上に向けた FD/SD 研修の実施　｜　自己評価 3

現状の取組状況	年 1 回以上の常勤教員による相互授業参観の実施。常勤教員同士が授業を視察し合い、指導ノウハウを共有・標準化する仕組みの構築を行った。 常勤教員による相互授業参観の実施率 100%となった。
今後の課題と改善方策	常勤教員の日常的な校務（学生指導、募集広報、学事）が多忙を極め、具体的な実践報告を行う振り返りの時間が十分に確保できなかった。

(10) 社会貢献・地域連携

地域社会や産業界との連携・貢献活動　｜　自己評価 3

現状の取組状況	地域貢献活動の一環として、近隣幼稚園や小学校において、学生による「歯科保健指導（劇や模型を用いた歯磨き指導）」を年間 1 回実施、約 60 名の児童に指導を行った。
今後の課題と改善方策	班分けやスケジュール管理を年間計画で組織的に行い、特定の学生に負担が偏らないようにするとともに、全学生が実践を積める体制を整える。

04 総括および今後の重点目標

今年度の総括：各評項目において、概ね目標を達しているとの結果となった。

次年度に向けた重点改善目標：今後の課題と改善方策をしっかり検証し、評価基準を適切（十分な成果を上げている）までに引き上げたい。